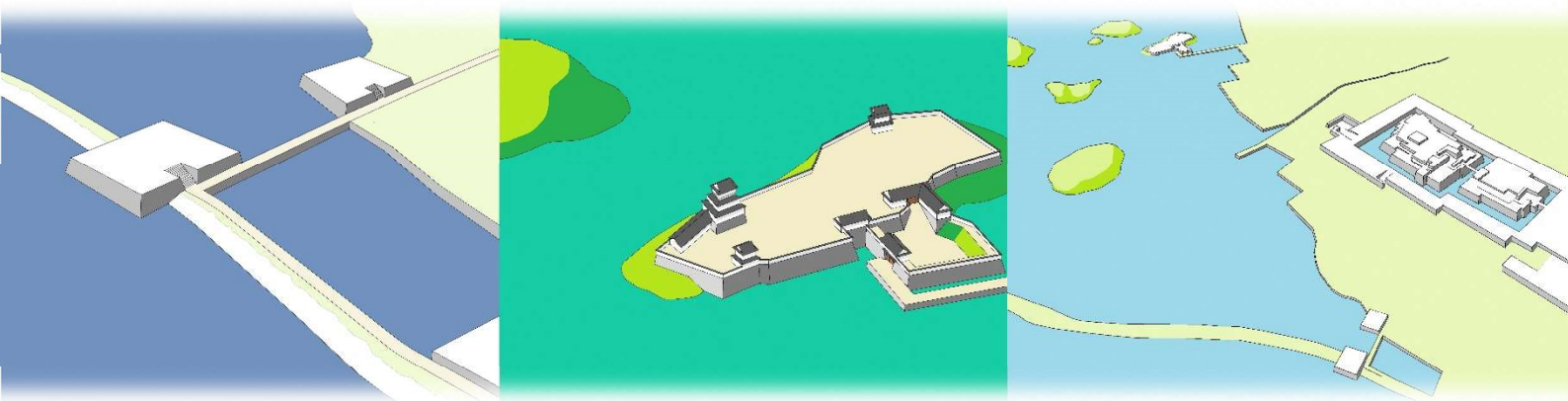


絵図が語る浜城の景観

主催：島原市教育委員会・島原文化連盟・島原図書館



浜城は、島原城が完成するまでのあいだ、仮の居城として松倉重政が使用し、島原城の完成後は島原城の出丸(付属する砦)としての役割を果たした城です。

本講座では、いくつかの絵図を読み解きながら、浜城の正確な立地、そして景観に迫るとともに、浜城近くの海岸に設けられた十字砲火のための墨線や、砦へと転用すべく巧みに設計された神社など、島原城のかくされた魅力をご紹介します。

◆日時 8月 19日(土) 14時~16時

◆場所 森岳公民館 大ホール

◆講師 西田 博氏

◆参加費 無料

◆参加申し込みは不要です。直接会場へお越しください。

◆問い合わせ 社会教育課 電話 0957-68-5473



【講師プロフィール】

1967年福岡県生まれ。九州大学大学院修士課程修了。元福岡県地域史研究所研究員。著書に『福岡県史 通史編 福岡藩(一)』、『新修 福岡市史 福岡城 築城から現代まで』(いずれも共著)など。